

# 〈 論文入試対策 推薦図書一覧 〉

Copyright 2020 - 現代文 まなびの礎 All Rights Reserved. 作成者 中野芳樹

## ☆入門レベル(志望学部未定段階や論文対策学習の基礎段階)

### 【人文・人間・教育系＝文・人文・外国語・国際文化・教育・発達・人間科学・生活科学・情報系】

書籍名	著者	出版社	コメント
欲望する「ことば」 社会記号とマーケティング	嶋浩一郎・松井剛	集英社新書	流行語のような日常に流通する言葉「社会記号」の生成と役割を考察する
人工知能の「最適解」と人間の選択	NHKスペシャル取材班	NHK出版新書	AIがもたらすものに人間はどう向き合うべきか。国内外の現場取材から
ヨーロッパ思想入門	岩田靖夫	岩波ジュニア新書	西欧思想の核心、ヘレニズムとヘブライズムの近代哲学への浸透を分析
となりのイスラム 世界の3人に1人がイスラム教徒になる時代	内藤正典	ミシマ社	イスラーム研究の第一人者による、イスラームと非イスラームの「衝突」の問題について
境界に生きる 暮らしのなかの多文化共生	孫 美幸	解放出版	在日韓国人である著者が多文化共生や平和についての考えを語る
現代日本人の意識構造[第8版]	NHK放送文化研究所	NHKブックス	最新の意識調査による日本人の価値観。人文・教育系データ処理の練習にも好適
大人のためのメディア論講義	石田英敬	ちくま新書	デジタル・メディア・テクノロジーの発達と現代の人間文明について考察する
意識をデザインする仕事	須藤シンジ	阪急コミュニケーションズ	福祉の理念としての「ピープルデザイン」を考える。教育系志望者に薦める
子どもの問題をいかに解決するか——いじめ、不登校、発達障害、非行	魚住絹代	PHP新書	スクールソーシャルワーカーによる、小・中学校の現場での問題事例と指導の紹介
思考を鍛える大学の学び入門	井下千以子	慶應義塾大学出版会	大学での「学び」の平易な入門書。アクティブラーニングの実践入門でもある

### 【社会系＝法・政治・経済・経営・商・環境・社会・福祉系】

書籍名	著者	出版社	コメント
新移民時代—外国人労働者と共に生きる社会へ	西日本新聞社	西日本新聞社	「グローバル化」とは、外国の出来事ではない。日本の現実を知る
競争社会の歩き方 自分の「強み」を見つけるには	大竹文雄	中公新書	経済における「競争」の意義を具体的にわかりやすく解説している
2030年 未来への選択	西川 潤	日経プレミアシリーズ新書	高齢化、エネルギー、資源、グローバル化……経済学的未来観
現場からみた「子どもの貧困」対策 行政・地域・学校の現場から	京都地域未来想像センター	公人の友社	京都府立大研究チームによる子どもの貧困の実態と対策
社会的ジレンマ 「環境破壊」から「いじめ」まで	山岸俊男	PHP新書	ジレンマ問題とゲーム理論の基礎的かつ具体的な入門書
やさしい行動経済学	日本経済新聞社編	日経ビジネス人文庫	2017年ノーベル経済学賞R.セイラーの行動経済学に関する入門書
スノーデン 日本への警告	E. スノーデン	集英社新書	アメリカ当局による一般市民「監視」を告発した元CIA局員の情報化社会への警鐘
18歳から考える人権	宍戸常寿編著	法律文化社	「人権問題」について、具体的な事例に即して分かりやすく解説している
分断社会・日本 なぜ私たちは引き裂かれるのか	井出 英策ほか	岩波ブックレット	日本社会の諸分野(労働・所得・人権・信頼等)に生じた「分断線」の脅威について
これだけは知っておきたい働き方の教科書	安藤至大	ちくま新書	「非正規雇用」「ブラック企業」「働き方の変化」など雇用と労働の問題点と新しいあり方

### 【自然系・医療系＝理・工・農・医学・医療系】

書籍名	著者	出版社	コメント
科学者をめざす君たちへ 科学者の責任ある行動とは 第3版	米国科学アカデミー	化学同人	理系論文頻出テーマ「科学者の倫理と社会的責任」について
科学史人物事典——150のエピソードが語る天才たち	小山慶太	中公新書	古代から現代までの科学者にまつわる興味深いエピソードの紹介
生命倫理への招待(改訂5版)	塩野 寛・清水恵子	南山堂	医療倫理・生命倫理問題への入門書の最新版!
人類危機—未来への扉を求めて(別冊日経サイエンス)	日経サイエンス編集部	別冊日経サイエンス	地球温暖化、生態系、食糧問題、感染症等、問題現象の科学的理解のために
話を聞かない医師 思いが言えない患者	磯部光章	集英社新書	医療現場と医学生教育の視点からとらえた医師・患者間コミュニケーションの問題
地域医療と暮らしのゆくえ—超高齢社会をともに生きる	高山義浩	医学書院	「2025年問題」という超高齢社会の到来を控えた日本の医療について考える
科学は未来をひらく 〈中学生からの大学講義〉3	村上陽一郎ほか	ちくまプリマー新書	中村桂子、長谷川真理子、藤田紘一郎、福井伸一など著名科学者による入門書
科学者は戦争で何をしたか	益川敏英	集英社新書	ノーベル賞科学者が警告する「政治と科学」の諸問題
iPS細胞 不可能を可能にした細胞	黒木登志夫	中公新書	がん研究の専門家による、iPS細胞の解説
WHOをゆく 感染症との闘いを超えて	尾身 茂	医学書院	さまざまな感染症対策の第一人者の著書

## ☆☆入試標準レベル(学部確定後や中級～上級の論文対策、直前対策として) \* 関連する他学部の推薦図書にも目を通しておう!

### 【文学部(人文・外国語・国際文化)系統】

書籍名	著者	出版社	コメント
言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学	野矢茂樹・西村義樹	中公新書	哲学者からの問いに対する専門家の応えを通して認知言語学を学ぶ
ソシュール超入門	ポール・ブレイザック	講談社選書メチエ	構造言語学の創始者ソシュールと記号論の入門書
メタファー思考 意味と認識のしくみ	瀬戸賢一	講談社現代新書	メタファーが人間の認識や思考、社会にどのように作用しているかを詳説
ことばの力学——応用言語学への招待	白井恭弘	岩波新書	言語学とその応用に関する幅広い事柄への入門書
ビッグデータと人工知能	西垣 通	中公新書	情報学の第一人者による「AIブーム」への懐疑と「人間」のための書
民族とネーション ナショナリズムという難問	塩川伸明	岩波新書	ナショナリズム・民族・国民国家等をめぐる問題を具体的に整理する
差別原論 (わたしの)なかの権力とつきあう	好井裕明	平凡社	差別における非対称性を考え、日常における様々な差別意識と向き合う
外国人による日本論の名著 ゴンチャロフからバングまで	佐伯・芳賀編	中公新書	日本社会・日本文化への客観的視点を得るために
歴史とは何か	山内昌之	PHP文庫	「歴史」「歴史学」それ自体についての基本的で具体的な考察
翻訳と日本の近代	丸山真男・加藤周一	岩波新書	日本の近代化に与えた翻訳の影響を語る

### 【教育学部・教員養成学科系統】

書籍名	著者	出版社	コメント
小学校の教師—子どもを育てる仕事	石川律子	溪水社	教師の視点から、小学生の育ちについて、具体的に考察
フィンランドの教育力 なぜ、PISAで学力世界一になったのか	リッカ・パッカラ	学研新書	不毛な「学力低下」論争ではなく、OECD学力調査世界一の教育現場の実態を知る
教育の職業的意義 若者、学校、社会をつなぐ	本田由紀	ちくま新書	職業を通して、今日の学校教育と社会との関係性を再考する
NHK中学生・高校生の生活と意識調査2012	NHK放送文化研究所	NHK出版	10年ごとの全国調査から読み解く10代の生活と意識の分析
新しい「教育格差」	増田ユリヤ	講談社現代新書	学校と教育をめぐる様々な「格差」について論じる
21世紀の社会と教育	広田照幸	アドバンテージサーバー	現代社会の多元性を踏まえた新しい教育観の提示
国際バカロレアとこれからの大学入試改革	福田誠治	亜紀書房	グローバル化状況での、今後の日本の教育と大学入試改革について
問いからはじめる教育学	勝野正章・庄井良信	有斐閣スタッディア	教育論・教育学の基礎を丁寧に解説している
子ども 大人 社会—子どものこころを支える教育臨床心理学	高田知恵子	北樹出版	子どもをいかに理解し、大人はいかに対応すべきかを考察
やさしい教育心理学[改訂版]	鎌原雅彦・竹綱誠一郎	有斐閣アルマ	教員志望者向き。教える立場から教育心理学の基礎を学べる

### 【人間科学部(認知・発達科学)・情報・社会学系統】

書籍名	著者	出版社	コメント
心の理論 心を読む心の科学	子安増生	岩波科学ライブラリー	認知科学・心理学の入門書
人は、なぜ約束の時間に遅れるのか 素朴な疑問から考える「行動の原因」	島宗 理	光文社新書	興味深い日常の話題から説き起こした行動科学の入門書
スローネット IT社会の新たなカタチ	西垣 通	春秋社	情報のスピードばかりが重視される中で、科学技術とスピードの問題を新たに考える
アフォーダンス 新しい認知の理論	佐々木正人	岩波科学ライブラリー	ギブソンのアフォーダンス理論と認知科学の入門書
ソーシャルブレインズ入門 〈社会脳〉って何だろう	藤井直敬	講談社現代新書	脳の働きを社会の中でのネットワークとして捉える学説の入門書
日本の「安心」はなぜ、消えたのか	山岸俊男	集英社インターナショナル	常識的な「日本人論」を覆す、社会心理学者による日本社会論
IT社会事件簿	矢野直明	ディスカヴァー・トゥエンティワン	インターネットの普及によって生じた社会の変化と特徴的な事件を解説
違和感から始まる社会学	好井裕明	光文社新書	日常性の中でのフィールドワークに「いま、ここを生きる」ことの意味を探る
子どもが育つ条件 家族心理学から考える	柏木恵子	岩波新書	発達・教育心理学の視点から、親子関係と子どもの発達を考える
21世紀社会とは何か 「現代社会学」入門	船津 衛 ほか	恒星学厚生閣	リスク社会、社会と自己、都市空間、公共性、ジェンダーなど、社会学のテーマ論集

**【法学部(法律・政治・総合政策・国際政治)系統】**

書籍名	著者	出版社	コメント
法的思考のすすめ[第2版]	陶久利彦	法律文化社	裁判の判決のあり方を具体的に踏まえつつ、法的思考と論点について解説する
基本的人権の事件簿 第5版 憲法の世界へ	棟居快行他	有斐閣選書	具体的な24の判例をもとに平易に憲法の理念を説明した最新版
いま、「憲法改正」をどう考えるか——「戦後日本」を「保守」することの意味	樋口陽一	岩波書店	昨今の憲法改正論議に関する第一人者の見解を紹介する
論点 日本国憲法—憲法を学ぶための基礎知識	安念・小山ほか	東京法令出版	9条問題、改憲問題、外国人の人権、輸血拒否、政教分離…、多様な論点を紹介・解説
人間の安全保障	アマルティア・セン	集英社新書	著名なノーベル賞経済学者の平易な論文集。安全・人権・グローバル化など
多数決を疑う 社会的選択理論とは何か	坂井豊貴	岩波新書	民主主義と多数決、社会的選択理論に関する入門書
シルバー・デモクラシー 戦後世代の覚悟と責任	寺島実郎	岩波新書	「団塊の世代」が高齢化した今日、日本の民主制の特質を分析し今後の課題を論じる
AI時代の新・ベーシックインカム論	井上智洋	光文社新書	AIによって人間労働が変貌する時代への、ベーシックインカムによる政策提言
西洋政治思想史	宇野重規	有斐閣アルマ	古代ギリシャから現代までの西洋政治思想について分かりやすく解説している
グローバリズム以後 アメリカ帝国の失墜と日本の運命	エマニュエル・トッド	朝日新書	フランスの著名な歴史家・人口学者の見た「トランプ・ショック」と日米の今後

**【経済学部(経営・商)・社会学部系統】**

書籍名	著者	出版社	コメント
経済古典は役に立つ	竹中平蔵	光文社新書	アダムスミス、リカード、マルクス、ケインズ、ハイエク等、経済古典の平易な解説書
経済が分かる 論点50 2020	みずほ総合研究所	東洋経済新報社	最新テーマ「米中経済摩擦」「消費税増税」「MMT」「SDGs」等論点50を紹介
2025年、高齢者が難民になる日 ケア・コンパクトシティという選択	小黒一正	日経プレミアシリーズ	超高齢社会の到来に対して、いかなる社会を構築すべきかの具体的な提言
「分かち合い」の経済学	神野直彦	岩波新書	日本経済の再生のための新たな考え方と財政論
自由はどこまで可能か リバタリアニズム入門	森村 進	講談社現代新書	人権としての「自由」の意味を徹底的に探る政策論の基礎づけ
原因を推論する 政治分析方法論のすすめ	久米郁男	有斐閣	政治・経済を中心に、社会科学の推論のありかたを興味深く解説している
高校生からのゲーム理論	松井彰彦	ちくまプリマー新書	経済学はもとより多様な分野の基礎理論となるゲーム理論の平易で新しい入門書
世界は感情で動く 行動経済学から見る脳のトラップ	M.モッテリリーニ	紀伊國屋書店	経済学に心理学を導入した新しい知見を具体的に紹介する
日本の新たな「第三の道」	アンソニー・ギデンズ	ダイヤモンド社	「第三の道」で著名なイギリスの政策ブレーンであった社会学者の日本に対する提言
マーケット・デザイン オークションとマッチングの経済学	川越敏司	講談社選書メチエ	市場原理をさまざまに応用する社会制度設計のための経済学。SFC論文などに好適

**【医学部・医療系・理・工・農学部系統】**

書籍名	著者	出版社	コメント
希望という名のホスピスで見つけたこと	細井 順	いのちのことば社	みずからががんになったホスピス医の死生観とホスピス論
私たちの終わり方 延命治療と尊厳死のはざままで	真部昌子	学研新書	尊厳死・安楽死、脳死と臓器移植などの基礎理解のために
次代を担う医療者のための 地域医療実践読本	中根晴幸	幻冬舎	地域医療・在宅医療・地域包括ケアに関する実践の書
先端医療の挑戦	中西真人編	日経サイエンス社	再生医療、遺伝子治療、iPS細胞、エボラウイルスなど最新の先端医療研究の紹介
科学の危機	金森 修	集英社新書	原爆や化学兵器など、科学の技術利用に関する問題点の批判的考察
明日を拓く55の技術	日経BPテクノインパクトプロジェクト	日経BPコンサルティング	最新の「すごい技術」について平易に紹介。ものづくり系志望者に。
人工知能とは	松尾 豊ほか	近代科学社	「ディープ・ラーニング」など、AI(人工知能)に関する最新の解説書
食の未来(別冊日経サイエンス)	日経サイエンス編集部	日経サイエンス社	「食」にまつわる様々な問題や研究、テクノロジーを紹介している
地球環境の事件簿	石 弘之	岩波科学ライブラリー	40年後の世界、資源の不足や様々な環境問題について予測・考察する
科学コミュニケーション 理科の(考え方)をひらく	岸田 一隆	平凡社新書	科学が難しく感じられる理由や科学の意義、科学の責任についての興味深い解説

**【スポーツ科学系統】**

書籍名	著者	出版社	コメント
スポーツ教養入門	高峰 修	岩波ジュニア新書	広くスポーツに関する基礎教養を分かりやすく解説している
スポーツ倫理	近藤良亨	不昧堂出版	「ドーピング」「フェアプレイ」「部活動」など、スポーツ科学系論文対策に好適
これからの健康とスポーツの科学[第4版]	安部・琉子 編	講談社	スポーツ科学の標準的なテキスト
よくわかるスポーツ倫理学	友添秀則	ミネルヴァ書房	スポーツ倫理の第一人者による広範かつ深いスポーツ倫理への論考
スポーツは誰のためのものか	杉山 茂	慶應義塾大学出版会	スポーツを巡って、日本人のスポーツ観、教育、企業、マスコミ等との関係を論じている

**☆☆☆最上級レベル(最難関大学や最難問の論文徹底対策、もしくは大学入学後のために)**

書籍名	著者	出版社	コメント
ヨーロッパ精神史入門——カロリング・ルネッサンスの残光	坂部恵	岩波人文書セレクション	ヨーロッパの哲学史を中世から近現代にかけて再考する
これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学	マイケル・サンデル	早川書房	著名な「白熱講義」の内容。倫理的・政治的「選択・決定」の是非を問う
現代文学理論 テキスト・読み・世界	土田知則ほか	新曜社ワードマップ	記号論・物語論・テキスト論など、現代の文学理論について俯瞰した一冊
日本語語用論のしくみ	町田 健編・加藤重弘著	研究社	広く言語学について学びつつ、語用論を理解することができる
Do! ソシオロジー——現代日本を社会学で診る[改訂版]	友枝敏雄・山田真茂留	有斐閣アルマ	現代社会の諸問題を社会学の視点から考察する
「集団主義」という錯覚 日本人論の思い違いとその由来	高野陽太郎	新曜社	「日本人」を巡る根拠なき言説を批判し、「常識」を打破する
世界システム論で読む日本	山下範久	講談社選書メチエ	日本が近代化以前にグローバリズムを体験したと説く新「世界システム」論
脳・心・人工知能 数理で脳を解き明かす	甘利俊一	講談社BLUEBACKS	人工知能の基礎と今後について、数理脳科学者による解説
パラダイムとは何か クーンの科学史革命	野家啓一	講談社学術文庫	科学史家クーンの科学革命と「パラダイム」概念の解説書
つきあい方の科学—バクテリアから国際関係まで	R.アクセルロッド	Minerva21世紀ライブラリー	生物学から戦争まで、ジレンマ問題に関するゲーム理論に基づく解説書

**☆～☆☆【学部横断的一般テーマ・論文一般・網羅的ダイジェスティヴなど】**

書籍名	著者	出版社	コメント
新版 論理トレーニング	野矢茂樹	産業図書	論理的な思考と表現の力を養う。本物の論理学者による入門書
論理パラドクス 論証力を磨く99問	三浦俊彦	二見書房	様々なパラドクス・ジレンマ・誤謬推理の練習問題
流れとよどみ 哲学断章	大森荘蔵	産業図書	我が国で最も著名な認識論哲学者の入門的エッセイ集
〈学問〉の取扱説明書	仲正昌樹	作品社	哲学・思想、政治、経済、社会、法の諸学分野における基本の確認
ポスト戦後社会 シリーズ日本近現代史(9)	吉見俊哉	岩波新書	1970年代以降の日本社会の変容を分析する
20世紀を震撼させた100冊	鷲田清一・野家啓一編	出窓社	各分野における20世紀の古典的名著100冊の簡潔な読書案内
現代言語論 ソシユール フロイト ウィトゲンシュタイン	立川健二他	新曜社ワードマップ	ソシユール言語学から始めて、現代思想の潮流を簡潔に解説する
大人のための世界の名著 必読書50	木原武一	海竜社	「一般教養」と言い得る書籍の紹介
日本の名著 近代の思想	桑原武夫編	中公新書	日本の近代思想を紹介
東大教師が新入生にすすめる本 2009-2015	東京大学出版会UP編集部	東京大学出版会	タイトル通り、大学教員目録での推薦図書集